

概要

支那側の対蘇復交に就て

一 孫科は蒋介石及汪精衛に対し対蘇復交の必要を主張してゐるが其理由とする所は概要左の通りである

一 東北の失地回復は支那単独の力では到底不可能であるから蘇國と提携し北滿の紛争を日蘇戦争に導く如くし以てこの目的を達成するかがよろしい(一)

2

面に於てはこの宣傳の効果を以てしても滿洲問題解決の爲日本は固より列國を支那に有利なる如く牽制することが出来る(二)之南支に於ける共產軍の勢力は牽制として抜くべかりず益々猖獗を極めてゐる今や國民黨の力を以てしては之が討伐は到底困難となつた依て此の際一時的便法として速に容共連蘇の政策に轉向して共產軍と妥

協し南京政府と窮地より救はねばならぬ  
南京政府刻下り財政逼迫と緩和する爲  
には蘇國と提携し其經濟的援助を受  
くるが一番よろしい

二 顧維鈞は南京に於て羅文幹と會合し對  
蘇復交を商議したが其結果支那は速か  
に蘇國と復交するを必要とする意見  
に一致した

三 最近汪精衛と張學良間に意見が交換  
せられ支那は最近蘇國と不可侵條約  
を締結するに決しモスコウに於て其  
談判を開始する爲莫德患を急據  
同地に赴かしめたと傳へてゐる